

よなご

No.65

★市議会だより

Y O N A G O C I T Y C O U N C I L



表紙写真「フグが釣れたよ!!!」 作品提供: お がわ し ゅ く み 小川 淑美さん

- 定例会及び臨時会のあらましP2
- 一般質問 P3~P12
- 議案等審議結果一覧表 P13~P16
- お知らせ P17~P20



令和3年3月定例会のあらまし

令和3年3月定例会は、3月3日から24日までの22日間の会期で開かれました。

開会日の3月3日には、まず市長から「功労者の表彰について」などの議案2件が提案され、委員会審査の後、それぞれ原案のとおり同意及び可決されました。

次に、市長から「米子市伯仙財産区管理会条例の一部を改正する条例の制定について」などの議案39件について提案理由の説明がありました。

5日、8日及び10日の3日間、18人の議員による市政一般に対する質問が行われました。

11日、15日から18日まで及び22日の6日間は、議案の審査等のため委員会が開催されました。

最終日の24日には、まず各委員会の委員長から議案等の審査報告があり、採決の結果、いずれも委員長報告のとおり決しました。

次に、市長から「工事請負契約の締結について」などの議案4件が提案され、委員会審査の後、いずれも原案のとおり可決

されました。

次に、市長から「監査委員の選任について」などの議案2件及び諮問1件が提案され、いずれも原案のとおり同意されました。

最後に、議員から「米子市議会会議規則の一部を改正する規則の制定について」の議案1件が提案され、原案のとおり可決されました。

なお、今回審議された案件は別表のとおり53件で、審議結果については、13ページから16ページまでの一覧表のとおりです。

別 表	
区分	件数
議案	48
諮問	1
陳情	4
合計	53

令和3年2月臨時会のあらまし

令和3年2月臨時会は、2月3日に招集され、市長から「専決処分について（令和2年度米子市一般会計補正予算（補正第12回）」などの議案3件が提案され、委員会審査の後、それぞれ原案のとおり承認及び可決されました。

会派等の構成が変まりました

蒼生会

稲田 清 奥岩浩基

尾沢三夫 門脇一男

田村謙介 三嶋秀文

森谷 司 渡辺穰爾

公明党議員団

今城雅子 前原 茂

安田 篤 矢田貝香織

よなご・未来

国頭 靖 土光 均

西川章三 矢倉 強

信風

安達卓是 伊藤ひろえ

中田利幸

日本共産党米子市議員団

石橋佳枝 岡村英治

又野史朗

政英会

岡田啓介 戸田隆次

一院クラブ

遠藤 通

無所属

岩崎康朗

令和3年6月1日現在
※会派内議員名は五十音順

都市経済委員会の構成が変まりました

【定数9名】

委員長 今城雅子

副委員長 三嶋秀文

委員

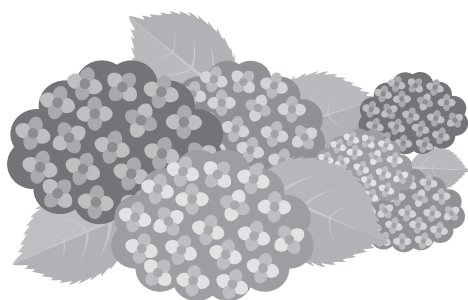
遠藤 通 岡村英治

尾沢三夫 中田利幸

前原 茂 森谷 司

矢倉 強

令和3年6月1日現在
※委員名は五十音順



あなたの 声 を市政に！

3月定例会では、18人の議員が各個質問を行いました。



紙面の都合上、質問と答弁を要約しています。
詳細は市議会ホームページのインターネット
録画配信、または、会議録をご覧ください。
*会議録は、議会事務局、各公民館、市立図書館
でご覧になれます。



「一般質問」とは、議員が市の一般事務について、市長及び執行
機関に対し質問を行うことです。

「一般質問」には以下の方法があります。

- 各個質問：議員が個々の立場で質問を行う
- 代表質問：3人以上の議員が所属する会派の代表が行う
- 関連質問：代表質問を行った議員と同じ会派の議員が関連し
た質問を行う

教育と福祉の融合について



いな きた きよし 議員
稲田 清 (蒼生会)

■議員 米子市障がい者支援プ
ラン2021の策定にあたり、
どこに力点を置いたのか伺う。

■市長 障がいの有無にかかわ
らず、全ての人が互いの人格と
個性を尊重し合い、住み慣れた
地域で暮らすことができる共生
社会の実現を、より一層推進し
たい。また、障がいのある方へ
の支援として、相談支援体制及
び医療的ケアが必要な児童生徒
に対する支援の強化について、
目標値を定めて推進したい。

■議員 重層的支援体制整備事
業への移行準備について伺う。

■福祉保健部長 令和3年度か
ら新たに参加支援事業、訪問支
援（アウトリーチ）等を通じた
継続的支援事業、あらゆる相談
に対応できる人材の育成・研修
に取り組み、これまでの事業と
一体的に実施する予定である。

■議員 訪問支援（アウトリー
チ）について、特にひきこもり
及び不登校に対する対応を伺う。

■福祉保健部長 年代を問わず、
ひきこもりなどにより、社会と
関係の構築が困難になった方に
対して、訪問による面談や電話
相談、同行支援などを通じて、
継続的に関わり適切な支援を届
けていくことを想定している。
特に不登校となった児童生徒の
支援には、教育委員会や学校、
こども未来局のこども相談課な
どの関係機関と情報を共有する
とともに、これらの関係機関が
一体となり、本人や家族との信
頼関係の構築に向け、丁寧な働
きかけを行っていきたい。

■議員 教育と福祉を、より融
合させ一体的として欲しい。

■市長 教育と福祉を融合して
いくということは非常に重要な
ポイントであり、特に教育現場
において、いろいろな困り事を
福祉面から支えていく、福祉の
下支えというものが必要である。
このような背景から、教育委員
会と福祉保健部の連携強化のた
め、今後、本庁舎と第2庁舎に
分散している行政機能を、ふれ
あいの里に集中的に配置をして
いきたいと考えている。

各 個 質 問



なか た とし ゆ き
中田 利幸 議員
(信風)

交通基盤と歩いて楽しいまちづくりについて

■議員 交通網は、まちの基礎インフラとして重要である。公共交通網との結節について、今後の課題をどのように捉えているのか伺う。

■市長 本市の公共交通網は、バス停から400メートル圏内の人口カバー率は88・4%であり、そのため公共交通空白地域は少なく、ある程度は公共交通で移動が可能な環境であるが、地区により本数や運行時間がニーズに合致しないことや、経路と目的地が合わない等の課題がある。

■議員 課題を踏まえ、どのような交通体系を目指すのか伺う。

■市長 徒歩、自転車、公共交通及びクルマのベストミックスを目指し、主要な目的地に公共交通等を利用して円滑に移動できる持続可能な交通体系を構築していく必要がある。

東山運動公園と新体育館について

■議員 新たな体育館整備により解消を目指すことや、これから可能となることは何か伺う。

■市長 現在は空調設備が無く、バリアフリーも不十分である。また、大規模なスポーツ大会等の開催にはアリーナ面積、観客席数が不十分である。年齢や障がいの有無を問わず誰もがスポーツに親しめ、健康寿命の延伸、生活習慣病の予防に役立つ施設にしたい。また、プロや大規模大会等により、活性化に寄与する施設とするほか、自然災害等の際には避難所や物資の集配拠点として活用し、市民の安全と安心に貢献する施設としたい。

■議員 東山公園は市街の中心部に位置し、近隣に店舗等もあり、アクセスもよく、米川の歩行者自転車道に接し、非常に良い立地にある。将来的にどのような運動公園を目指すのか。

■市長 例えばランニングコースやカフェ、トレーニングジム等、誰でも気軽に利用できる施設の整備を想定し、市民の健康増進につながるような運動公園を目指していきたい。



かど わ き か ず お
門脇 一男 議員
(蒼生会)

米子市役所本庁舎の在り方について

■議員 令和2年3月定例会で本庁舎と駐車場の借地問題に関し、1年程度でめどがつくかどうか見極めたいとのことだったが、どう見極めたのか伺う。

■副市長 借地取得に向けて一応の足がかりができ、一定の前進ができた。取得に向けて交渉にさらに力を重ね、本庁舎を改修し使い続ける方向に進みたい。

■議員 本庁舎の長寿命化改修も含め、新しい本庁舎建設に向けての最終判断をいつ頃するのか伺う。

■総務部長 築45年を迎える令和9年をめどに長寿命化改修をしたい。構想に2年、設計に2年などの時間を要するため、遅くとも令和4年度頃には基本計画の検討に入りたい。

■議員 借地の取得に一定のめどがつけば、本庁舎の長寿命化

改修を含めたその後のスケジュールについて速やかに報告していただきたい。

農業を取り巻く諸課題について

■議員 近年の荒廃農地面積の推移と課題について伺う。

■農林水産振興局長 荒廃農地面積は、平成29年度が129ヘクタール、平成30年度が114ヘクタール、令和元年度が101ヘクタール、令和2年度が89ヘクタールである。課題は、小さい区域であることや排水不良等により、農地が営農に結びついていないことがあげられる。

■議員 荒廃農地解消には特に若い世代の就農者を増やさなければならぬ。長期的視野に立つての対策について所見を伺う。

■市長 荒廃農地対策は重要な市政の課題だと認識している。圃場整備、担い手の確保、新規就農者の育成は継続して取り組む。また、企業の参入や定年後の就農促進を図り、農作業の負担軽減のためのIT化、スマート農業の導入の促進、収益性の高い作物の研究及び導入、さらに海外への販路の開拓を図り、できるものからしっかりと取り組んでいく。

各質問



矢田貝香織 議員
(公明党議員団)

マスクやフェースシールド等が着用困難な方への支援について

■議員 新型コロナウイルス感染症拡大防止のために、外出時のマスク着用は新しい生活様式の1つとして定着してきたが、化学物質過敏症、発達障がい、感覚過敏、皮膚炎、ぜんそくや肺の病気などで、マスクやフェースシールド等をつけたくてもつけられない方たちがいらつしやる。そういった方たちを周囲が理解し、お互いに気持ちよく過ごせるために、意思表示バッチやカード等を作成し多くの人に知ってもらう「わけがありましくプロジェクト」というものがある。ヘルプマークでは伝え切れない意思表示の一つとして取り組み、啓発に努めていたいただきたいが、見解を伺う。

■市長 事情によりマスクがつけられない方がいらつしやることを、多くの皆様に知ってもら

うことは大変重要なことと思っており、いろんな形で紹介する取組を進めたい。そして、その中で相互理解を深め、誰もが気持ちよく暮らせる社会の実現に努めたい。

「コミュニティ・スクールについて

■議員 令和3年度から具体的に動き出す「米子市版のコミュニティ・スクール」に大いに期待している。今後の全市的な展開に向けた取組と、学校と地域の連携テーマについて所見を伺う。

■教育長 準備ができた中学校区から徐々に広げていきたい。あわせて、全市的な理解の拡大につなげるため、市全体に向けての広報活動に取り組みたい。連携テーマは、それぞれの学校運営協議会で、各学校の経営方針を実現するための話し合いを重ね、その地域に合った特色ある取組を進めることになる。

■議員 学校と地域の連携を、「防災」の視点から進めていくことを改めて提案する。教育委員会の定例会やコミュニティ・スクール推進協議会あるいは校長会等で御検討いただきたい。



戸田 隆次 議員
(政英会)

上・下水道の経営統合について

■議員 本員はかねてより上・下水道の経営統合について提唱しているが、その背景については両事業併せて約800億円の起債残があり、両事業とも財務状況が逼迫してくることから、両事業において料金の値上げが必須と想定されている。そこで、水道局は企業会計であるが、給与体系について一般職並みに改定されるとともに、上・下水道事業ともさらなる自助努力を積極的に実施され、市民の負担軽減を図るべきではないか。

■市長 給与体系については、過去の労使交渉により現在に至っているが、同じ市の職員であることを踏まえ、見直しが必要ではないかと考える。両企業会計においては、料金の値上げが必要状況である。市民あるいは水道を使用される住民に対し

て、きちんと説明責任が果たせるよう、我々の材料をしっかりと考えておかなければならないと考えている。

■議員 上・下水道事業については、両事業の経営統合を図り、事業のスリム化を促進すべきである。料金の値上げ改定を視野にしているが、市民に対し自助努力の成果をきちんと示すべきではないか。

■市長 上・下水道事業については、近い将来料金の改定は避けられないと考えている。それぞれの企業会計において、企業努力の成果を市民に示すべく、ベストな考え方を探っていくかなければならないと考えており、引き続き努力をしたい。

米子市文化ホールの活用について

■議員 文化ホールの修繕費については約20億円を要すのとだが、今後想定する民間活力の導入についてその内容を伺う。

■文化観光局長 民間活力の導入については、人の交流を生み出す機能や商業的機能などの複合的な機能を持つものなどを想定しており、今後具体的な検討に入っていきたい。

各 個 質 問



まえはら しげる
前原 茂議員
(公明党議員団)

脱炭素社会への取組について

■議員 日本の令和元年度のCO₂排出量は11億600万トンであるが、本市のCO₂排出量はどのくらいか。

■市民生活部長 平成29年度では二酸化炭素排出量が124万3000トンとなっている。

■議員 CO₂削減に向けた本市の具体的な取組について伺う。

■市民生活部長 米子水鳥公園におけるCO₂フリー電気への切り替えや、現在工事中の下水道消化ガスを利用した未利用エネルギー活用事業などを実施している。

■議員 各家庭でできるCO₂削減の取組について伺う。

■市民生活部長 LED照明や省エネ家電への買換え、省エネ住宅へのリフォーム、エコバッグの使用や宅配便の再配達削減など身近な取組がある。

美保地区の小学校の在り方について

■議員 現在の美保地区の各小学校3校の児童数と今後の推移予測について伺う。

■教育長 令和2年5月1日現在の児童数は、崎津小学校が139人、大篠津小学校が86人、和田小学校が90人である。来年度以降の新入学児童の推定数は、大篠津小学校と和田小学校では、年度によっては10名を下回るような場合もある。

■議員 今後校区審議会で検討される小中一貫校、義務教育学校の違いについて伺う。

■教育長 義務教育学校は校長が1人で、校長の下で1つの職員集団が一貫した9年間の教育課程を編成して実施する学校であり、小中一貫型中学校は、組織上は小学校と中学校が別で、義務教育学校に準じた形で一貫した教育を行うものである。

■議員 子どもたちが自由闊達に勉強できるような環境をつくらなければならないと思う。また、美保地区の小中学生たちや、御家族や地域の方々が喜んでいただけるような再編がされることを望んでいる。



いとう ひろえ
伊藤ひろえ議員
(信風)

生活困窮者支援の窓口について

■議員 長引くコロナ禍における生活困窮者支援の窓口対応について伺う。

■福祉保健部長 自立支援事業などの活用を図り課題に寄り添い、生活の立て直しに向けての支援を継続していきたい。

■議員 窓口がわかりにくいため、改善が必要だと思うが所見を伺う。

■福祉保健部長 体制や窓口の表示を含め、より市民にわかりやすい、相談しやすい窓口になるよう見直しをしたい。

■議員 令和4年度からの総合相談支援センター設置に向け、今年度は移行準備と聞いているが、相談者の困り事を解決するためにできることはないかと、相談者と一緒悩みながら考えていくという姿勢で取り組んでいただきたい。

ひとり親支援について

■議員 ひとり親家庭への日常生活支援事業を行っているが、登録数について伺う。

■こども未来局長 令和3年2月現在、8名である。

■議員 本事業は1時間当たり0円から300円までと低廉な利用料である。必要な人が使えるように母子会との連携を強めるべきと考えるが見解を伺う。

■こども未来局長 家庭生活支援員の体制充実が図られたことから、さらに事業の周知を図りたい。また、様々なひとり親支援事業の実施に当たり、より母子会との連携を深めていきたい。

■議員 ひとり親家庭のなかでも母子家庭の世帯収入は低く、その8割は200万円以下の収入だと言われている。経済的な自立のため、また今後、母子寡婦等に占める高齢女性の割合が高くなると見込まれているため、安定的な生活に向けての資格取得支援事業を進めるべきである。自立支援教育訓練給付金事業を実施する考えはないか伺う。

■市長 今後、本制度の実施に向けて検討したい。

各 個 質 問

コロナ禍での自死予防策について



あだち たかし 議員
安達 卓是 (信風)

■議員 コロナ禍の影響による孤立の実態に対し、健康・福祉の観点からの本市の取組を伺う。

■福祉保健部長 健康対策課に心の相談窓口を設置し、随時対応している。適切な支援機関に つなぐ役割を持つゲートキーパーの養成研修を市職員、保健推進員等を対象に実施している。

■議員 社会的な課題であるコロナ禍の自死について、市を挙げてどのように対策に取り組まれるのか。

■市長 これまでの取組を継続することを基本とし、地区担当保健師による訪問支援、また民生委員、民間団体との協働により、予防的な支援に一層力を入れていきたい。

小・中学校のバリアフリー化の取組について

■議員 文科省が昨年、全国一斉に小中学校施設の調査をしたと聞いた。その目的を伺う。

■教育委員会事務局長 本調査は、令和2年5月1日時点での小中学校のバリアフリー化の状況の調査である。障がいがある児童生徒が安心して学習に取り組める施設整備が必要とのことで実施された調査と考える。

■議員 発表された調査結果によると、市内の学校には多目的トイレが設置されていない等、バリアフリー化未整備の項目がある。学校は、児童生徒が通う施設、教職員の職場としての施設、地域の避難所に指定されている施設でもある。現状をどのようにに捉えているか伺う。

■教育委員会事務局長 全ての児童生徒が安心して学習でき、教職員が安心して職務を遂行できるよう、環境を整備していく。これまで数校にスロープ、多目的トイレ等を設置してきた。令和3年度も整備を予定している。

■市長 児童生徒が安心して学校生活を送れるよう、また教職員及び地域住民が安心して利用できるよう、災害時の避難所機能も踏まえて、引き続き学校のバリアフリー化を推進したい。

権利としての生活保護について



おかむら えいじ 議員
岡村 英治 (日本共産党米子市議団)

■議員 2020年6月の参議院決算委員会での当時の安倍首相は、生活保護について、文化的な生活を送る権利があるので、ためらわず申請してほしいと答弁した。市長も同様の認識か伺う。

■市長 国民の権利であると私も認識している。

■議員 生活保護を申請した場合、扶養照会が行われている。どういった理由、目的で、どういった範囲に照会するのか伺う。

■福祉保健部長 扶養義務者の扶養については、保護に優先して行われるものと定められている。扶養照会は、扶養義務が履行できる者に対して行う調査である。

■議員 扶養照会があるために保護申請をためらうケースが多数見受けられる。生活保護水準

にある人のうち、実際に生活保護を受けているのは2割にすぎない。こうしたことが大きな要因になっているのではないか。

■福祉保健部長 扶養の可能性の調査の結果、相当の期間音信不通で交流のない場合や虐待等の経緯がある場合など、扶養義務履行が期待できないと判断する場合は扶養照会を行わないため、それだけをもって申請の壁になっているとは考えにくい。

■議員 市の窓口で、生活保護の申請があつて、何件の扶養照会が行われ、実際に金銭的援助につながったのは何件か伺う。

■福祉保健部長 令和2年12月現在で、申請が225世帯、扶養照会の件数は168件で、そのうち金銭援助につながったのは2件であった。

■議員 168件の照会件数に対して金銭的援助につながったのはわずか2件、1・2%にすぎない。田村厚労相は、扶養照会には義務ではないと明言した。ためらわず申請をと言うのであれば、ためらわせるような扶養照会はやめるべき。少なくとも本人の承諾なく扶養照会を行わないなど、全面的な運用の見直しを国に求めていただきたい。

各 個 質 問



おくい ひろ ぎ 議員
奥岩 浩基
(蒼生会)

関係人口について

- 議員 コロナ禍で地方暮らしが見直されるなか、本市の移住施策の状況・対応について伺う。
- 市長 ワンストップで対応をする移住定住相談窓口や、お試し住宅、移住体験住宅を設けている。令和3年度からは、本社機能移転に伴い県外から移住をしてきた方への支援を始めることも考えており、引き続き移住定住を促進していきたい。
- 議員 初のオンライン相談会の感触、メリット・デメリットについてどう分析されたか。
- 総合政策部長 相談者の米子に対する関心度が高かった。移動時間がかからず、場所を選べるなど参加者へのハードルが低く参加しやすかった。また、全国からの参加が可能であった。一方で、パソコン環境のない方は参加しにくかったと考える。

■議員 昨年も伺ったが米子市のSNSのそれぞれの登録者数について伺う。

■総務部長 概ね全てにおいて登録者増であった。例としてYouTube（ユーチューブ）チャンネル登録者数が前年比318%であった。

■議員 来年度以降の関係人口拡大の展望・取組について伺う。

■市長 コロナ禍における地方都市への移住への魅力については、仮にコロナが終息すれば増えていくのではないかと考える。その中で、選ばれる地方都市であるために、米子市の誇る魅力をしつかりと磨き上げ、発信していく努力を続けていきたい。それにより、関係人口がやがては移住、定住へとつながるように努力をしたい。

米子市の子育て環境について

■議員 小中学校の給食のアレルギー対応について、平成26年での課題案件であるが、所見を伺う。

■市長 今後の課題として対応をより細かくしていくことは認識しつつ、今後の対応について、話し合いをしていきたい。

保育園の運営状況について



おか だ けい すけ 議員
岡田 啓介
(政英会)

■議員 本市は、出生数の低下が民間保育施設に対して影響を及ぼすということが想定されるときに、どういう対応を考えているのか。

■市長 公立保育所と民間保育施設ができるだけ協力し合って保育需要に対応できる利用定員を維持し、児童数の減少が生じた場合においては、公立保育所の受入れ数を調整するなどしながら、民間事業者の経営の安定に配慮したいと考えている。

鳥取大学医学部並びに附属病院との連携について

■議員 今現在行っている連携を踏まえ、今後の進むべき方向性について伺う。

■市長 今後については、連携協定に基づき、将来的な病院の整備、スマートホスピタル事業

の推進など、病院が掲げる課題に対して、しっかりと協力ができるとような体制を築き上げていきたい。

■議員 高度医療に関しては、当然鳥取大学に先陣を切ってもらった上で必要があるが、今やっておられるベンチャー企業は、ほかの地方大学にとってもモデルケースであり、県を巻き込んで、大学発のベンチャー企業と連携をしていってほしいと考えるが、所見を伺う。

■市長 その気持ちは十分持っているつもりである。今後とも、情報のやり取りは一生懸命行い、足りないところは県や国の力もいただきながら、本市の中で成果が1つでも2つでも多く上がるように努力をしていきたい。

■議員 神戸市のようなモデルを目指すとなると、かなりハードルは高いが、本市も連携をして、新しい米子モデルではないが、鳥取大学医学部並びに附属病院と築いていけるように、米子市の尽力を要望しておきたい。

(その他の質問項目)

○本市の経済状況と対応策について

○教育行政について

各 個 質 問



またの しろう
又野 史朗 議員
(日本共産党米子市議団)

性別に関係なく一人ひとりが尊重される社会に
(学校の制服を選択制に)

■議員 全国では、男子も女子も制服のズボン・スカートを着ることができ学校が増えてきている。米子市内の中学校の制服の状況はどうか。

■教育長 男子は全て学生服、女子はセーラー服かブレザーにスカートとなっている。

■議員 着たくない服を着なければならぬことによって、学校に行きにくいと感じている子は確実にいる。スカートは寒い、自転車に乗るとき不便などの声を聞く。米子市でも制服の選択制について検討しないのか。

■教育長 制服の選定や見直しについては、最終的には校長の権限で決定することである。

■議員 行政区全体で一斉に制服を選択制にした自治体もある。校長の判断に任せるだけでなく、教育委員会としても、学校に行

きづらいと感じる生徒を少しでもなくするような行動をするよう強く要望する。

産業廃棄物処分場建設計画
の中止を求めて

■議員 米子市まちづくりビジョンでは、淀江地区は、史跡や名水などの特色のある地域資源を生かしたまちづくりを進めているとある。これまで考えられていなかった災害が起こる時代であり、産業処分場から有害物質が漏れ出すことも想定しなければならぬ。そうすると、地下水に影響が出て、淀江の名水を後世に残すことができなくなる可能性もあるのではないかと。

■市民生活部長 センターの計画については、妥当なものであると考える。

■議員 最悪の状況も想定して施策を行う必要がある。地下水に影響が出る可能性があることから目をそらし、産業処分場への土地利用を認めようとしている米子市の態度は問題がある。このような状況で産業処分場建設を進めることは認められない。

(その他の質問項目)

○新型コロナウイルス対策



ど こう ひとし
土光 均 議員
(よなご・未来)

中国電力と結んでいる安全協定の立地自治体並みへの改定について

■議員 市長は、改定申入れに関して、「ボールは中電にあり、この1年間ずっと回答を待っている状態」という認識か。

■市長 その認識である。

■議員 島根原発2号機稼働の是非を議論するまでに、安全協定の改定に関して議論がされるべきという認識か。

■市長 どこかの節目で中電から何らかの回答があるものと認識している。

■議員 「節目のとき」というのは2号機稼働の是非を議論するときであり、それまでに中国電力から回答が当然あるべきだという認識だと受け取る。

公文書公開のあり方、運用について

■議員 淀江の産業計画に関して、関係自治会へのヒアリング

に関する文書の公開請求をした結果、次のとおりほとんど全面黒塗りの文書を開示された。理由を問う。

公開請求した文書	開示された文書
1. 米子市議会議員の選挙権に関する文書	開示された文書
2. 米子市議会議員の選挙権に関する文書	開示された文書
3. 米子市議会議員の選挙権に関する文書	開示された文書
4. 米子市議会議員の選挙権に関する文書	開示された文書
5. 米子市議会議員の選挙権に関する文書	開示された文書
6. 米子市議会議員の選挙権に関する文書	開示された文書
7. 米子市議会議員の選挙権に関する文書	開示された文書
8. 米子市議会議員の選挙権に関する文書	開示された文書
9. 米子市議会議員の選挙権に関する文書	開示された文書
10. 米子市議会議員の選挙権に関する文書	開示された文書

■市民生活部長 出席者名や協議内容の公開は、出席者に不利益を生じる恐れがあり、適切でない判断したためである。

■議員 協議内容に関し、市側の発言も含め、全て黒塗りにするのは納得できず、不服審査請求をした。その結果、審査会から市の判断は一部妥当でないと結論が出たため市は開示内容を次のように改めた。

公開請求した文書	開示された文書
1. 米子市議会議員の選挙権に関する文書	開示された文書
2. 米子市議会議員の選挙権に関する文書	開示された文書
3. 米子市議会議員の選挙権に関する文書	開示された文書
4. 米子市議会議員の選挙権に関する文書	開示された文書
5. 米子市議会議員の選挙権に関する文書	開示された文書
6. 米子市議会議員の選挙権に関する文書	開示された文書
7. 米子市議会議員の選挙権に関する文書	開示された文書
8. 米子市議会議員の選挙権に関する文書	開示された文書
9. 米子市議会議員の選挙権に関する文書	開示された文書
10. 米子市議会議員の選挙権に関する文書	開示された文書

公文書公開が条例にのっとり厳格に運用しているとは言えないのではない。

■副市長 今後に生かすべき部分があったとは思う。

各 個 質 問



いましろ まさこ 議員
今城 雅子 (公明党議員団)

安心して住み続けられるまちづくりの構築について

■議員 最近、高齢の方から、自身の将来に対する漠然とした不安を考えると、安心して暮らしを楽しめないとの話を伺うことが多い。本市には、よろず相談的な受け皿が見当たらないと感じるが、現状を伺う。

■福祉保健部長 日常生活全般の御相談、いわゆるよろず相談といったものを継続して受け止めるような体制の整備には至っていないのが現状である。

■議員 日常生活全般に対する総合的相談のニーズは非常に高く、相談支援体制の構築が求められている。今後、どのように対応していくのか伺う。

■福祉保健部長 本市では、重層的支援体制整備事業を令和4年度から実施予定であり、令和3度には具体的な準備を行う。

■議員 重層的支援体制整備事業

業の具体的な体制と、本市の理念や目指すべき姿について伺う。

■市長 複雑化・複合化した支援ニーズに対応する包括的な支援体制を構築する。断らない相談支援、多機関協働による支援、訪問等による支援、多様な活躍の場の確保などを一体的に実施する事業である。「ともに生き、ともに輝き、ともにつくる福祉のまち」の実現を目指す。

■議員 重層的支援体制の構築には、地域のよろず相談員といった人材の養成が急務である。全庁を挙げて取り組み、希望を持って住んで楽しいまち米子の住人でよかったと感じてもらえる相談体制の構築を提案する。

環境対策について

■議員 今後、65歳以上の高齢者が増加し、使用済み紙おむつの割合も増加する。家庭から排出される使用済み紙おむつの再生利用について伺う。

■市民生活部長 使用済み紙おむつの再生利用等の実施例は少ない。紙おむつの減量・再生利用について、今後の研究成果を注視していく。

■議員 推進を希望する。



たむら けんすけ 議員
田村 謙介 (蒼生会)

行政のデジタル化推進について

■議員 スマート窓口化によって、例えば死亡届を出したとき、国民健康保険の葬儀費の手続も連結してできるようにならないのか伺う。

■総務部長 スマート窓口は、市が保有する情報等に基づき、申請も可能な限り一括で受付を行うもので、市民サービスの向上に直結する取組であると考えている。令和3年度は、子育て関連の手続のみ対象に運用を開始するが、令和4年度には、対象となる手続の範囲を拡大したい。

■議員 先日、本庁舎で対応ができず、市民がふれあいの里に歩いて行かれたという話があった。こういったことがないようデータを取り取りして、あちこち行っていたかなくてもいいように市民に寄り添っていただきたい。

米子城跡の復元とまちづくりについて・6

■議員 試掘調査で判明したことを来訪者に理解していただくための看板の設置、ホームページでの広報ができないか伺う。

■文化観光局長 発掘調査現場の公開やホームページの更新など、リアルタイムの情報発信に努め、説明板を現地に設置し、発掘調査成果について情報を積極的に発信していきたい。

■議員 仮想現実による復元で例えば四重やぐらのように、図面があり内部構造が明らかなのについてはできる限り復元、再現に努めていただくよう要望する。

■文化観光局長 史料が整っているものについては、VR、ARでの再現も可能だが、今回は往時の米子城の全体像が見渡せるように、限られた予算の中で、少しでも広い範囲のものを可視化していきたいと考えている。

■議員 現地に行けないお年寄りや障がいを持たれた方が御自宅、施設などでも仮想現実の米子城を体験いただけるよう、DVDの配布やインターネットでの配信を要望する。

各質問



いしばし よしえ
石橋 佳枝 議員
(日本共産党米子市議団)

小学校の統廃合は、住民の声をよく聞き十分な審議を

■議員 和田、大篠津、崎津小学校の統廃合について、米子市立学校校区審議会の設置が教育委員会決定された。地域懇談会が開かれた発端は何か伺う。

■総合政策部長 全国的な課題である人口減少により、和田小学校において、令和8年度に子ども数の複式学級の基準になると予見され、本市としては学校を中心としたまちづくりを進める必要があると判断し、令和元年度に地域の皆さんとの意見交換を行うため開催した。

■議員 なぜ15人で複式学級としているのか、また自治体で基準を決められないのか伺う。

■教育長 国の基準で、小学校は、連続する2つの児童の合計が16人以下で複式になる。鳥取県は、この基準から1人減じて15人と定め、本市は鳥取県の基

準と同様にしている。

■議員 16人という数字のもととの根拠は何か伺う。

■教育長 複式学級の16人の根拠というのは分からない。

■議員 複式学級を教員の加配により支えることを、統廃合の前提ではなく、小規模校を生かす方法として考えてはどうか。

■教育委員会事務局長 議員御指摘の選択肢もあるが、このことは学校づくりの在り方に係る説明会を踏まえた地域の方々の意向と認識している。

■議員 複式学級にせず、少人数の2つの独立したクラスとすることを要望する。どの子も取り残さず基礎力をつけるという点で、少人数のほうがはるかに優れているのではないかと。統廃合を急ぐ前に、この優れた環境を生かすことは考えないか伺う。

■教育長 少人数学級の利点は教育委員会としても認識をしている。学校づくり説明会においてもメリット、デメリットを繰り返し説明した上での保護者の意向と認識している。

(その他の質問項目)

○安心の医療保険を

○第4種踏切事故に至急の対策を求めて



えん どう とおる
遠藤 通 議員
(一院クラブ)

庁舎用地の買取り交渉と借地料問題について

■議員 令和3年3月までに、庁舎用地の買取りのめどをつけると公約されてきたが、公約どおりにならなかった要因について説明を求める。

■副市長 地権者には「条件が整えば、売却も含めて検討したい。売却交渉に応じない、売ると言っていないとは言わない。」と言っていたという。また、地権者は、具体的な条件面などの検討について県外業者に発注されているが、コロナ禍の影響で業務が進まなかったため、具体的な交渉に至らなかった。

■議員 11回もの交渉を重ねてきたと報告されているが、市側の条件について、どのような提示がされているのか。

■副市長 交渉内容の細かい部分は控えたい。契約途中の交渉でも、条件が整えば売却を含めて検討するとの確認をした。具体的な条件を提示する段階には至っていない。

■議員 交渉が合意に至った場合、借地契約期限を令和22年の契約満期にすれば、残り14億円の借地料を支払うことになる。契約期限はコスト面に大きな影響を与えるが、どのような対応をされるのか。

■副市長 交渉の結果を議会に諮り、できるだけ市の財政負担が少なくなるよう努めたい。

■議員 本庁舎の借地料は、令和元年度までに3億7300万円、第2庁舎は3億4100万円という大きな金額を支払っている。その上に、借地権の買取りに7億円、更新料に1億5000万円の投資をしている。コスト削減を強く求める。

米子境港間の高規格道路について

■議員 高架ルートを想定した場合、日吉津村と上福原、東福原、西福原、西三柳、河崎、大篠津の住宅密集地が想定される。住宅、事務所等の集団移転(数百軒〜1000軒)、自治会の分断、車公害等も予想されるが、どのような認識か。

■都市整備部長 高架で造った場合、その隣接地域に多大な影響が出る。自治会の分断、集団移転はルートによって起こる。また、開通後の騒音や振動といった公害も発生すると思っており、責任をもって対応したい。



くにとう やすし
国頭 靖議員
(よなご・未来)

コロナ禍での市民への支援 ・米子市の体制について

■議員 コロナ禍において、ひとり親世帯、生活保護世帯などが大変苦労している。米子市子どもの貧困対策推進計画（ひまわりプラン）によると、本市は県内他市と比べてひとり親家庭の割合が多い。この世帯の大学等の進学率は低水準で推移しており、親の収入に応じた子どもの教育格差は、文科省もしっかりとデータを出している。そこで、大阪市では学習塾の費用を助成しているが、このような取組を本市でもするべきではないか。

■議員 保護者の所得に関わらず、子どもたちの教育を守っていくべきではないかということとを強く訴えていただき、私も全く同感である。議員紹介の大阪市の事業については、検討はしていないが、現在取り組んでいる様々な施策の効果をしっかりと検証して、子どもたちの学力や学習意欲をしっかりと高めていきたい。

■議員 子どもの教育は平等であるべきであり、親の収入の格差によって教育を受ける機会に差が出ることに對して、市長はどう考えるか。

■市長 教育の機会の平等は、当然保障していかなければならないものであり、学習の遅れ等については、それが貧困から来るものであるならば、市長部局としても教育委員会の取組をサポートしていきたい。

■議員 コロナ禍における市民、企業への支援について伺う。

■総合政策部長 市民に対する支援としては、国・県における支援策のほか、税、料等の猶予及び減免、子育て世帯への給付、住宅確保給付金の支給などを行っている。

■経済部長 現在実施している事業者に対する支援としては、制度融資である地域変動対策資金、利子補給、飲食関連事業者応援給付金であり、今後はプレミアム付商品券、社会人スキルアップ・再就職支援補助金などの各種事業である。

聴覚に障がいのある方に 手話通訳者を派遣します

米子市議会では、本会議、委員会、全員協議会を傍聴する際に、聴覚に障がいのある方に手話通訳者を派遣します。利用に際して費用はかかりません。

事前の申込みが必要ですので、希望される方は議会事務局へお問い合わせください。

※市議会ホームページ「傍聴のご案内」に「手話通訳申込書」の様式を掲載していますのでご利用ください。また、会議の日程を掲載していますので、ご確認の上、傍聴希望日の2日前（土日、祝日を除く）までに議会事務局に提出してください。

※お申込み後に傍聴を取りやめる場合は、速やかに議会事務局に連絡してください。

【お問い合わせ・申し込み】

Eメール：gikai@city.yonago.lg.jp

ファクシミリ：(0859) 35-6464

電話：(0859) 32-0302

郵送：〒683-8686 米子市加茂町一丁目1番地 米子市議会事務局宛



令和3年米子市議会2月臨時会提出議案審議結果一覧表

●全会一致で議決した議案●

議案番号	件名	議決結果
議案第2号	専決処分について（令和2年度米子市一般会計補正予算（補正第13回））	原案承認
議案第3号	令和2年度米子市一般会計補正予算（補正第14回）	原案可決

令和3年米子市議会3月定例会提出議案等審議結果一覧表

●全会一致で議決した議案等●

議案等番号	件名	議決結果
議案第4号	功労者の表彰について	原案同意
議案第5号	令和2年度米子市一般会計補正予算（補正第15回）	原案可決
議案第6号	米子市伯仙財産区管理条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議案第7号	米子市体育施設条例等の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議案第8号	米子市被災者住宅再建等の支援に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議案第9号	米子市職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議案第10号	米子市固定資産評価審査委員会条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議案第11号	米子市国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議案第12号	米子市大規模再生可能エネルギー発電設備の設置の促進のための固定資産税の課税免除に関する条例を廃止する条例の制定について	原案可決
議案第14号	米子市介護保険条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議案第16号	米子市新型コロナウイルス感染症対応融資利子補給基金条例の制定について	原案可決
議案第17号	米子市建築物等の適切な管理に関する条例の制定について	原案可決
議案第18号	米子市手数料条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議案第19号	米子市営住宅条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議案第20号	米子市営湯山庭球場及び米子市営日野川堰運動広場の指定管理者の指定について	原案可決
議案第21号	米子市営大和公園運動広場の指定管理者の指定について	原案可決
議案第22号	米子市都市公園（内浜区域）の指定管理者の指定について	原案可決
議案第24号	市道の路線の認定について	原案可決
議案第25号	市道の路線の変更について	原案可決
議案第26号	令和2年度米子市一般会計補正予算（補正第16回）	原案可決
議案第27号	令和2年度米子市国民健康保険事業特別会計補正予算（補正第3回）	原案可決
議案第28号	令和2年度米子市駐車場事業特別会計補正予算（補正第2回）	原案可決
議案第29号	令和2年度米子市介護保険事業特別会計補正予算（補正第3回）	原案可決
議案第30号	令和2年度米子市後期高齢者医療特別会計補正予算（補正第2回）	原案可決
議案第31号	令和2年度米子市米子インター周辺工業用地整備事業特別会計補正予算（補正第1回）	原案可決
議案第32号	令和2年度米子市水道事業会計補正予算（補正第2回）	原案可決
議案第33号	令和2年度米子市下水道事業会計補正予算（補正第2回）	原案可決
議案第35号	令和3年度米子市国民健康保険事業特別会計予算	原案可決
議案第36号	令和3年度米子市土地取得事業特別会計予算	原案可決
議案第37号	令和3年度米子市駐車場事業特別会計予算	原案可決
議案第38号	令和3年度米子市市営墓地事業特別会計予算	原案可決
議案第39号	令和3年度米子市介護保険事業特別会計予算	原案可決
議案第40号	令和3年度米子市後期高齢者医療特別会計予算	原案可決
議案第41号	令和3年度米子市米子インター周辺工業用地整備事業特別会計予算	原案可決
議案第42号	令和3年度米子市水道事業会計予算	原案可決
議案第43号	令和3年度米子市工業用水道事業会計予算	原案可決
議案第44号	令和3年度米子市下水道事業会計予算	原案可決
議案第47号	令和2年度米子市一般会計補正予算（補正第17回）	原案可決
議案第48号	令和3年度米子市一般会計補正予算（補正第1回）	原案可決
議案第49号	監査委員の選任について	原案同意
議案第50号	公平委員会委員の選任について	原案同意
議案第51号	米子市議会会議規則の一部を改正する規則の制定について	原案可決
諮問第1号	人権擁護委員候補者の推薦について	原案同意

○：賛成 ×：反対 議：議長

賛否の状況																					
蒼生会					よなご・未来				公明党議員団				信風			日本共産党 米子市議団			政英会		一院 クラブ
尾 沢 三 夫	門 脇 一 男	田 村 謙 介	三 嶋 秀 文	渡 辺 稜 爾	国 頭 靖	土 光 均	西 川 章 三	矢 倉 強	今 城 雅 子	前 原 茂	安 田 篤	矢 田 貝 香 織	安 達 卓 是	伊 藤 ひろ え	中 田 利 幸	石 橋 佳 枝	岡 村 英 治	又 野 史 朗	岡 田 啓 介	戸 田 隆 次	遠 藤 通
○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※所属会派名は2月臨時会時のものです。

○：賛成 ×：反対 議：議長

賛否の状況																					
蒼生会					よなご・未来				公明党議員団				信風			日本共産党 米子市議団			政英会		一院 クラブ
尾 沢 三 夫	門 脇 一 男	田 村 謙 介	三 嶋 秀 文	渡 辺 稜 爾	国 頭 靖	土 光 均	西 川 章 三	矢 倉 強	今 城 雅 子	前 原 茂	安 田 篤	矢 田 貝 香 織	安 達 卓 是	伊 藤 ひろ え	中 田 利 幸	石 橋 佳 枝	岡 村 英 治	又 野 史 朗	岡 田 啓 介	戸 田 隆 次	遠 藤 通
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○
○	○	○	○	○	×	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	×
○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	×
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○
×	×	×	×	×	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	×	×	×
×	×	×	×	×	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	×	×	×
×	×	×	×	×	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	×	×	○
×	×	×	×	×	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	×	×	×

※所属会派名は3月定例会時のものです。

陳情 第81号	【不採択とした理由】
	①原子力災害が発生したときは、換気を行わないことが基本原則であり、そこでのコロナ対策は、換気ができる条件が整っていれば換気をする事と考えるため、陳情にあるような相反するものではないため。
	②緊急時に被ばくを避ける避難行動と感染症を防ぐ対応については、柔軟に対応できる状況にしておくことが何よりも重要であり、あらかじめ説明をしたり、コロナウイルス対策のマニュアル化や数値的なものを示しておくことで、被ばくを避けることが最優先であるべきものが、かえってその対応を難しくすることも考えられるため。
	<賛成意見> 市の今後の方針である出前講座や原子力防災ハンドブックの配布、防災訓練だけでは不十分であり、コロナ禍のような新たな状況を踏まえた避難計画を、具体的な行動に結びつくよう、住民に分かりやすく説明することが必要である。加えて、放射線量の基準、定義、対策等具体的な内容がしっかりと記載されたガイドラインを作るべき。
	<反対意見> ①原子力災害が発生したときは、換気を行わないことが基本原則であり、そこでのコロナ対策は、換気ができる条件が整っていれば換気をする事と考えるため、陳情にあるような相反するものではない。
	②緊急時に被ばくを避ける避難行動と感染症を防ぐ対応については、柔軟に対応できる状況にしておくことが何よりも重要であり、あらかじめ説明をしたり、コロナウイルス対策のマニュアル化や数値的なものを示しておくことで、被ばくを避けることが最優先であるべきものが、かえってその対応を難しくすることも考えられる。

令和3年米子市議会 2月臨時会提出議案等審議結果一覧表

●賛否が分かれた議案●

議案等番号	件名	議決結果	蒼生会		
			稲田清	岩崎康朗	奥岩浩基
議案第1号	専決処分について（令和2年度米子市一般会計補正予算（補正第12回））	原案承認	○	議	○

令和3年米子市議会 3月定例会提出議案等審議結果一覧表

●賛否が分かれた議案及び陳情●

議案等番号	件名	議決結果	蒼生会		
			稲田清	岩崎康朗	奥岩浩基
議案第13号	米子市一般廃棄物処理施設整備負担金基金条例の制定について	原案可決	○	議	○
議案第15号	米子市指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準等を定める条例等の一部を改正する条例の制定について	原案可決	○	議	○
議案第23号	事業契約の締結について	原案可決	○	議	○
議案第34号	令和3年度米子市一般会計予算	原案可決	○	議	○
議案第45号	工事請負契約の締結について	原案可決	○	議	○
議案第46号	財産の取得について	原案可決	○	議	○
陳情第80号	屋内退避における新たな知見に基づいた避難計画の見直し検討を求める陳情	原案可決	×	議	×
陳情第81号	新型コロナウイルス感染症等流行下における住民避難計画について具体的な原子力災害対策の住民への説明を求める陳情	原案可決	×	議	×
陳情第82号	保育士の全面パート化につながる短時間勤務保育士の活用促進ではなく、保育所職員の配置基準改善、処遇向上のための必要な措置を求める意見書の提出を求める陳情書	原案可決	×	議	×
陳情第83号	米子市の集会室等の施設にインターネットを利用できるよう、WiFi環境を整備することを求める陳情	原案可決	×	議	×

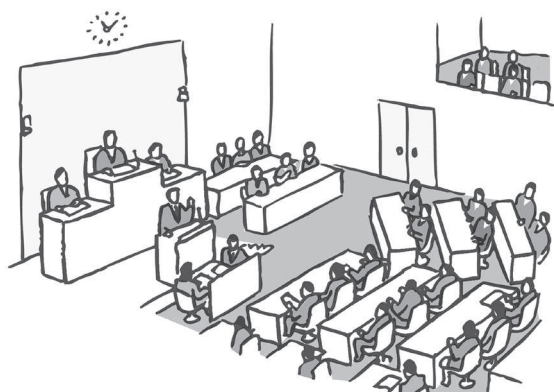
●陳情の議決結果の理由等①●

陳情第80号	【不採択とした理由】 ①新たな知見については、国において検証が続けられているところであり、国の動向を見定めるべきであるため。 ②科学的知見が確定されたものを基に作成された国の原子力災害対策指針や防災計画に基づいて、避難計画の見直し、検討等を鳥取県等とともに進めるべきであるため。 <賛成意見> ①原子力防災ハンドブックに掲載されている内部被ばくの軽減率は、欧米のデータが基になっており、日本の木造家屋に当てはまらず、そのデータを基にした避難計画を危惧しており、屋内退避という考え方を改めるべき。 ②避難計画は最悪を想定して作るべきと考えるため、今回の知見を取り入れるべき。加えて、現場である鳥取県、米子市の考えも独自に取り入れることが必要である。 <反対意見> ①新たな知見については、国において検証が続けられているところであり、国の動向を見定めるべき。 ②科学的知見が確定されたものを基に作成された国の原子力災害対策指針や防災計画に基づいて、避難計画の見直し、検討等を鳥取県等とともに進めるべき。 <継続審査を主張する意見> 国が示している屋内退避による内部被ばくの軽減率、新しい知見の軽減率についてまず検証、確認していくことが必要であり、そのあとに避難計画の見直しが必要かどうかの判断をするべき。
--------	---

令和3年米子市議会3月定例会提出議案等審議結果一覧表

●陳情の議決結果の理由等②●

陳情 第82号	【不採択とした理由】 ①働き方の柔軟性も含め、短時間勤務を望む保育士もあり、全面的に短時間勤務をなくすのではなく、子どもにとってより良い保育を、現実的にできる形で提供することに努めていただきたいと考えるため。 ②本陳情について考える上で、自身の子育て時間、介護時間等の確保、短時間勤務制度の目的といったものを理解する必要があり、一人一人の保育士の質が勤務時間によって変わるものではないと考えるため。 ③フルタイムもパートも生活や仕事を充実させていくという、ワークライフバランスがこれからは重要であり、短時間勤務をはじめとする柔軟な働き方の導入については適切と考えるため。 ④保育士不足によって、どうしても待機児童が解消できない自治体があることは認識しており、そのための緩和措置については理解でき、賛同できないため。 <賛成意見> ①子どもの安心できる環境、安全を保障するためには最大限良い環境の保障が必要であり、緩和する方向には反対である。 ②緩和措置の常態化、保育の質の低下を危惧し、保育士等の処遇改善といった根本的な解決を望む本陳情の趣旨に賛同する。 <反対意見> ①働き方の柔軟性も含め、短時間勤務を望む保育士もあり、全面的に短時間勤務をなくすのではなく、子どもにとってより良い保育を、現実的にできる形で提供することに努めていただきたいと考える。 ②本陳情について考える上で、自身の子育て時間、介護時間等の確保、短時間勤務制度の目的といったものを理解する必要があり、一人一人の保育士の質が勤務時間によって変わるものではないと考える。 ③フルタイムもパートも生活や仕事を充実させていくという、ワークライフバランスがこれからは重要であり、短時間勤務をはじめとする柔軟な働き方の導入については適切と考える。 ④保育士不足によって、どうしても待機児童が解消できない自治体があることは認識しており、そのための緩和措置については理解でき、賛同できない。
陳情 第83号	【不採択とした理由】 ①大きな施設へのWi-Fi環境の整備には多額の費用がかかる。また、セキュリティ対策の構築ができるかどうか疑問であるため。 ②公の施設においては、大規模災害等の対応のためのWi-Fi環境の整備は、今後、議論していくべきだと思うが、本陳情の内容は、ZOOM等を利用したオンライン会議を開催するための整備を求めるものである。そのような整備に市が多額の税金を積極的に投じることに違和感があるため。 ③本陳情は集会等を実施することを前提としているが、コロナ禍の中、人が集まる流れをつくることには賛同できないため。 <賛成意見> ①現代において、インターネットは幅広く利用されているため、市の施設に市民が求めるようなインターネット環境を整備することは必要である。 ②文化ホール、公会堂等の市の大きな施設にはWi-Fi環境を整備し、市民が遠方の講師から話が聞けるオンライン研修会が開催できるようにしていただきたい。コロナ禍の中、集まりがなくなってきたという市民の声も聞く。このような集会が開催できれば、そういった声に応えることができるので、Wi-Fi環境の整備を進めていただきたい。 <反対意見> ①大きな施設へのWi-Fi環境の整備には多額の費用がかかる。また、セキュリティ対策の構築ができるかどうか疑問である。 ②公の施設においては、大規模災害等の対応のためのWi-Fi環境の整備は、今後、議論していくべきだと思うが、本陳情の内容は、ZOOM等を利用したオンライン会議を開催するための整備を求めるものである。そのような整備に市が多額の税金を積極的に投じることに違和感がある。 ③本陳情は集会等を実施することを前提としているが、コロナ禍の中、人が集まる流れをつくることには賛同できない。



お知らせ

令和3年6月定例会の

市長改選のため、6月定例会の日程は、5月中旬に決定する予定です。

決まり次第、市議会ホームページに掲載しますので、そちらをご覧ください。また、議会事務局にお問い合わせください。

請願書・陳情書のつくり方

請願・陳情は、市議会と市民を直接つなぐ大切な手段です。市政についての意見や希望があるときは、だれでも提出できます。請願には、紹介議員の署名又は記名押印が必要ですが、陳情には紹介議員は不要です。

※令和3年4月1日受付分から、提出者の氏名について、自署される場合は押印が不要となりました。（自署以外による氏名の記載には押印が必要です。）

【記載上の注意事項】

- ① 法人、団体として提出される場合は、その所在地及び名称並びに代表者の署名又は記名押印が必要です。昼間に連絡のとれる電話番号も記載しておいてください。
- ② 内容が2項目にわたるときは、なるべく1項目ごとに提出してください。
- ③ 提出者が多数の場合には、なるべく代表者を選び、提出者欄に記入してください。
- ④ 関係行政庁に意見書の提出を求める請願・陳情の場合は、意見書の案を添付してください。

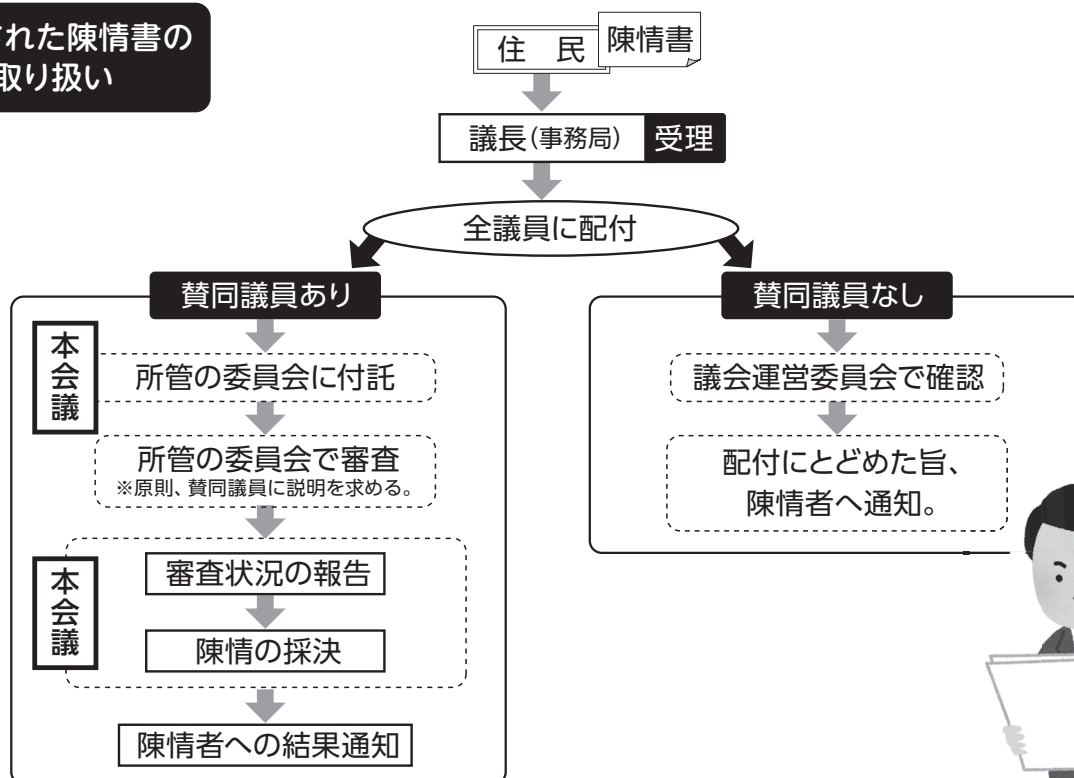
【書式例】

〈表紙〉	〈内容〉
〇〇〇に関する 請 願 書 紹介議員 氏名 (署名又は記名押印)	年 月 日 米子市議会議長 様 (提出者) 住 所 氏 名 (署名又は記名押印) 電話番号 〇〇〇に関する請願 1 要旨…… 2 理由……

※陳情書については、請願書の書式に準じて記載してください。

※事務処理の都合上、定例会開会日の2日前（市の休日を除く）の正午までに提出されたものについて、その定例会で審議されます。上記期限後に提出されたものは、その次の定例会で審議されることになります。

提出された陳情書の 取り扱い



政務活動費の領収書などを 公開しています

米子市議会では、政務活動費の適正な運用を期すとともに、その使途の透明性をより高めるため、収支報告書とあわせて領収書などの支出の証拠となる書類を公開しています。

インターネットでの公開について

平成28年度分の政務活動費から収支報告書および領収書などの支出の証拠となる書類を公開しています。

※平成27年度分は、収支報告書のみ公開しています。

【市議会ホームページ】 <http://www.city.yonago.lg.jp/gikai/>

●ホームページ内の「政務活動費」からごらんいただけます。

●スマートフォン、タブレットからもごらんになれます。

※市議会だより裏表紙の二次元コードをご利用ください。

※令和2年度の書類は、令和3年7月1日までに公開します。

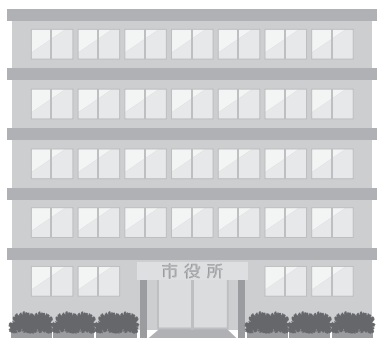


書類の閲覧について

平成28年度分の政務活動費から収支報告書および領収書などの支出の証拠となる書類の写しをどなたでも閲覧することができます。

閲覧場所 議会事務局（市役所本庁舎5階）へお越しください。

閲覧時間 月曜日から金曜日まで（閉庁日は除く）
午前8時30分から午後5時15分まで

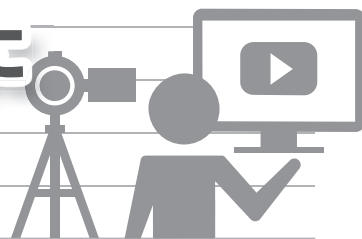


●領収書などの支出の証拠となる書類は、米子市情報公開条例に基づき、個人情報等の保護のため一部黒塗り処理しています。

●閲覧できる書類は、有料でコピーできます。複写機使用料は1枚（モノクロ、A3サイズまで）10円です。

●平成27年度分の領収書などの支出の証拠となる書類の写しの閲覧には公文書公開請求をしていただく必要があります。

ただいま 動画配信 ▶ に 向けて準備中です



米子市議会では、市政の諸課題に対処するため、市民と市政に関する情報及び意見を交換する場として議会報告会を開催することとしています。

しかしながら、令和2年の報告会は新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、やむを得ず中止としました。

そして、令和3年の議会報告会の開催につきましても、広報広聴委員会で検討してまいりましたが、新型コロナウイルス感染拡大の終息や今後の感染拡大状況が見込めないこと、またウイルスの変異株の発生状況などを考慮し、来場者及び関係者の健康面、安全面を第一に考え、今年も開催を見送ることとしました。

議会報告会は開催できないものの、別の形で情報発信ができないかと協議を重ねた結果、このたびYouTubeでの動画配信による議会報告を行うこととしました。

動画配信は米子市議会にとって初の試みであり、試行錯誤の中ではありますが、6月上旬頃には動画配信ができるよう、広報広聴委員会が中心となって準備を進めているところです。ぜひ、ご視聴ください！

YouTube
米子市議会チャンネル



https://www.youtube.com/channel/UCsOzSBFGKnAUKk2zquCKR_w

- 市議会ホームページ内の「議会報告会」からご覧いただけます。
- スマートフォン、タブレットなどで右上の二次元コードを読み取っていただくと「米子市議会チャンネル」をご覧いただけます。



表紙写真・イラスト募集中!

よなご市議会だよりを、皆様に親しまれ、より身近な広報紙とするため表紙写真等を募集します。
あなたの作品で表紙を飾ってみませんか。

応募資格	米子市内に住んでいる方、または通勤・通学している方
応募内容	写真 ●応募者が米子市内で撮影した写真で未発表のもの ※組み写真、合成写真不可 ●個人が特定できる写真は、本人の承諾を得たもの ※デジタル写真は600万画素以上 (A4サイズで印刷しても画像が荒れないもの) ※プリント写真は2Lサイズ以上 イラスト(手書き) ハガキサイズ以上、A3サイズ以下 イラスト(デジタル) A4サイズで印刷しても画像が荒れないもの
締切	令和3年6月16日(水)【令和3年9月1日発行号】 ※発行される季節に見合う写真・イラストをお待ちしています!
選定方法	●期日までに応募のあった作品から広報広聴委員会において選定します。 ●応募作品がない場合や採用作品がない場合は、本委員会で撮影した写真を使用するか、過去にご応募いただいた作品の中から選定します。
応募方法	住所、氏名(ふりがな)、電話番号、作品タイトル、写真の場合は撮影場所、撮影年月を明記の上、郵送、持参、電子メールで下記の問い合わせ先までご応募ください。 ※写真やイラストのデータを電子メールで応募される場合は、5メガバイト以下の容量で送信してください。セキュリティの関係上、5メガバイト以上のデータを受信することができません。 送信できない場合は、恐れ入りますが、データをSDカード等に保存してご持参いただくか、写真(2Lサイズ以上)またはイラスト(A4サイズ以上、A3サイズ以下)の現物を郵送もしくはご持参いただきますようお願いいたします。 ※必要に応じて、写真の元データやイラストの現物の提出をお願いすることがあります。

- ・応募作品に関する著作権、肖像権等の問題が発生した場合、その責任および解決はすべて応募者に帰属するものとします。
- ・採用作品は、市議会だよりへの掲載をもって発表とします。
- ・採用された写真・イラストは、必要に応じてトリミング処理等のサイズの調整を行なうことがあります。
- ・応募作品は、無償で米子市議会が使用することに許諾したものとします。
- ・希望されるかたには応募作品を返却します。

◎委員長 前原 土田 門尾 安達 矢岡 岡村
◎副委員長 茂均 謙一 三夫 卓是 田貝 香織 英治

広報広聴委員会

お問い合わせ先

米子市議会事務局 〒683-8686 米子市加茂町一丁目1番地

TEL: (0859) 32-0302 FAX: (0859) 35-6464

メール: gikai@city.yonago.lg.jp

米子市議会

検索

URL: https://www.city.yonago.lg.jp/gikai/

ご意見等ありましたら、電話・FAX・メール等でお寄せください。

